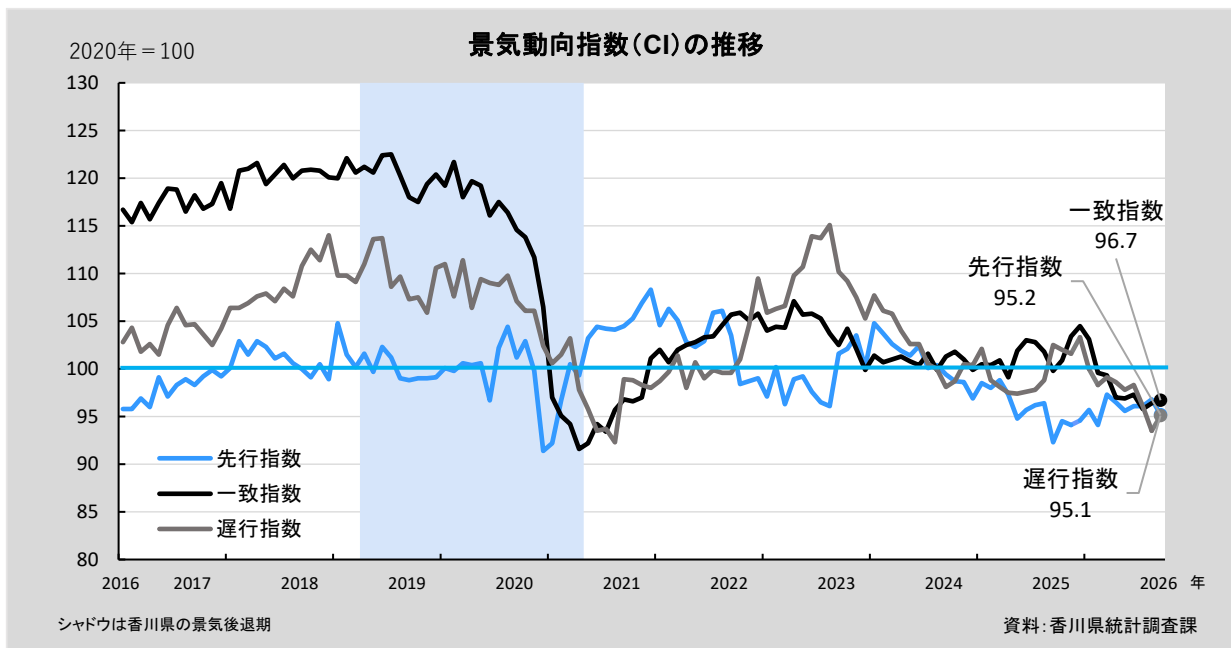


概況	持ち直している。
個人消費	緩やかな増加基調にある。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	持ち直しの動きに弱さがみられる。
貿易	輸出、輸入ともに減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわCI) 一致指数 2カ月連続上昇



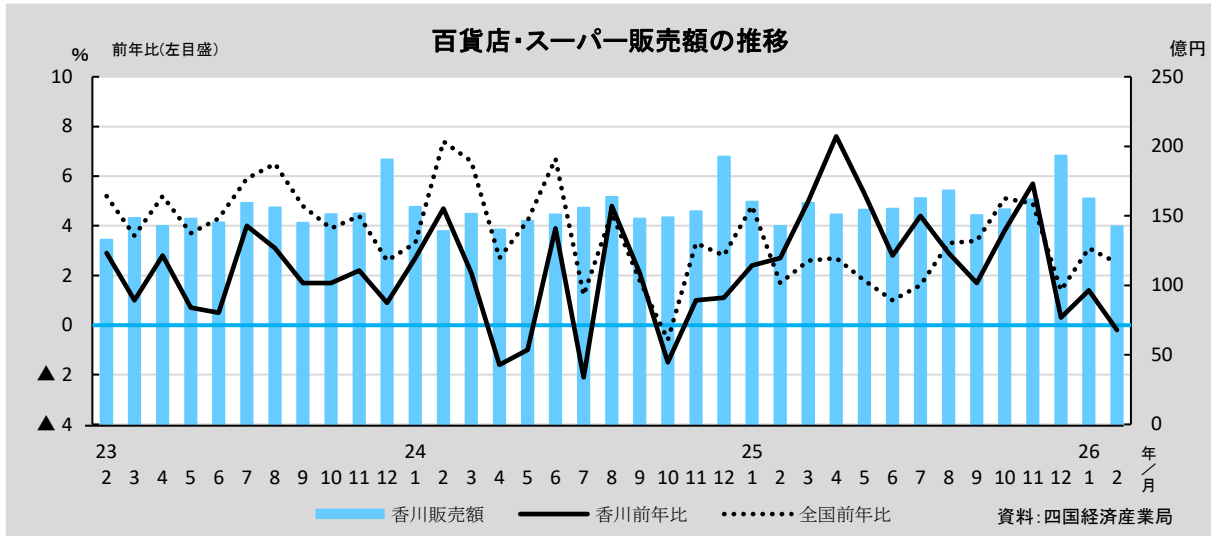
景気の現状をみると、1月のCI一致指数は96.7（前月比+0.3ポイント）と2カ月連続で上昇。CI先行指数は95.2（同▲1.6ポイント）と4カ月ぶりに下降。CI遅行指数は95.1（同+1.6ポイント）と3カ月ぶりに上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、所定外労働時間指数、百貨店・スーパー既存店販売額等がプラスに寄与し、2カ月連続で上昇となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 0.90	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.30	1 常用雇用指数	1.62
	2 乗用車新車登録台数		2 有効求人倍率	0.36	2 有効求職者数	▲ 0.15
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.36	3 所定外労働時間指数	0.65	3 消費者物価指数	▲ 0.62
	4 新設住宅着工戸数	▲ 1.21	4 鉱工業生産指数	0.23	4 家計消費支出	0.00
	5 金融機関貸出残高	0.24	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.62	5 鉱工業在庫指数	0.60
	6 消費者態度指数	0.68	6 建築着工床面積	▲ 0.70	6 法人事業税調定額	▲ 0.38
			7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.63	7 第3次産業活動指数	0.62

●百貨店・スーパー販売額

16 カ月ぶり減少 ↓

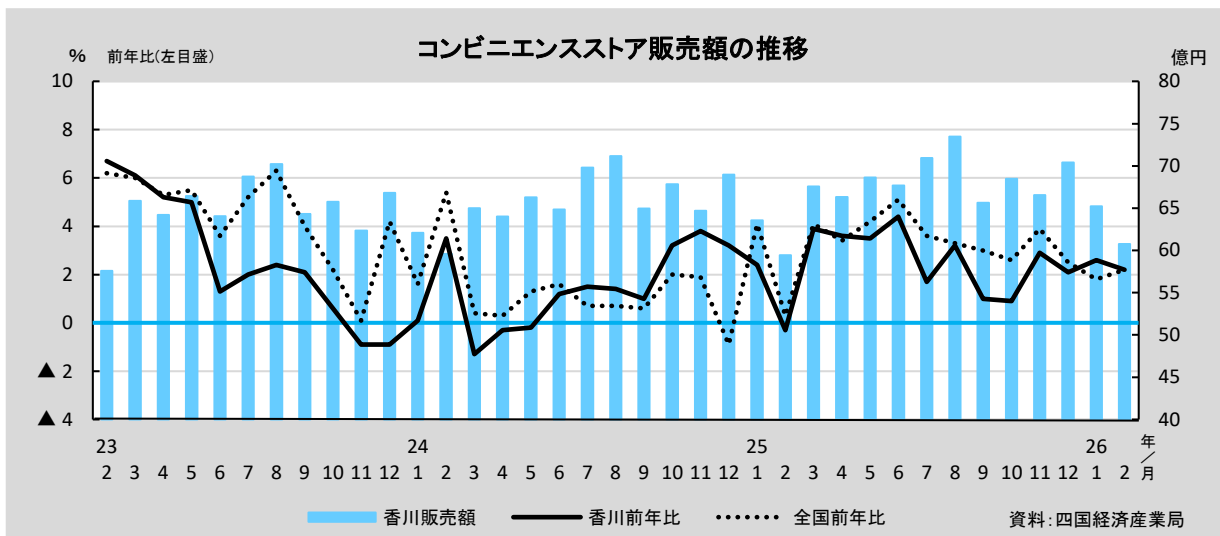


2026/2月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(百万円)	753	466	11,014	18	45	611	1,330	5	14,242
前年同月比(%)	▲6.4	▲6.5	0.2	34.7	20.7	▲1.0	2.3	12.2	▲0.2

2月の百貨店・スーパー全店(89店)の販売額は142.4億円で、前年同月比▲0.2%と16カ月ぶりに減少した。「衣料品」は紳士服・婦人服ともに春物衣料が苦戦したことなどから同▲6.4%と減少した。一方、「その他の商品」は高級時計や美術品などの高額品や玩具、化粧品が好調だったことなどから同+2.3%と前年を上回った。

●コンビニエンスストア販売額

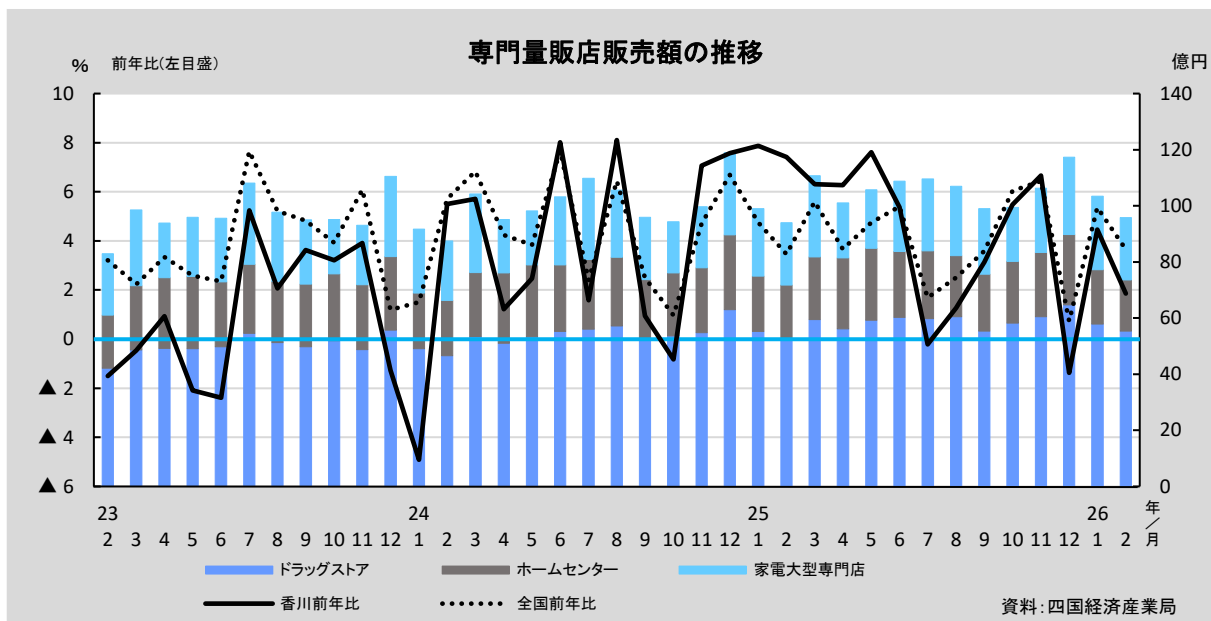
12 カ月連続増加 ↑



2月のコンビニエンスストア全店(411店)の販売額は60.8億円で、前年同月比+2.2%となり、12カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

2 カ月連続増加 ↑

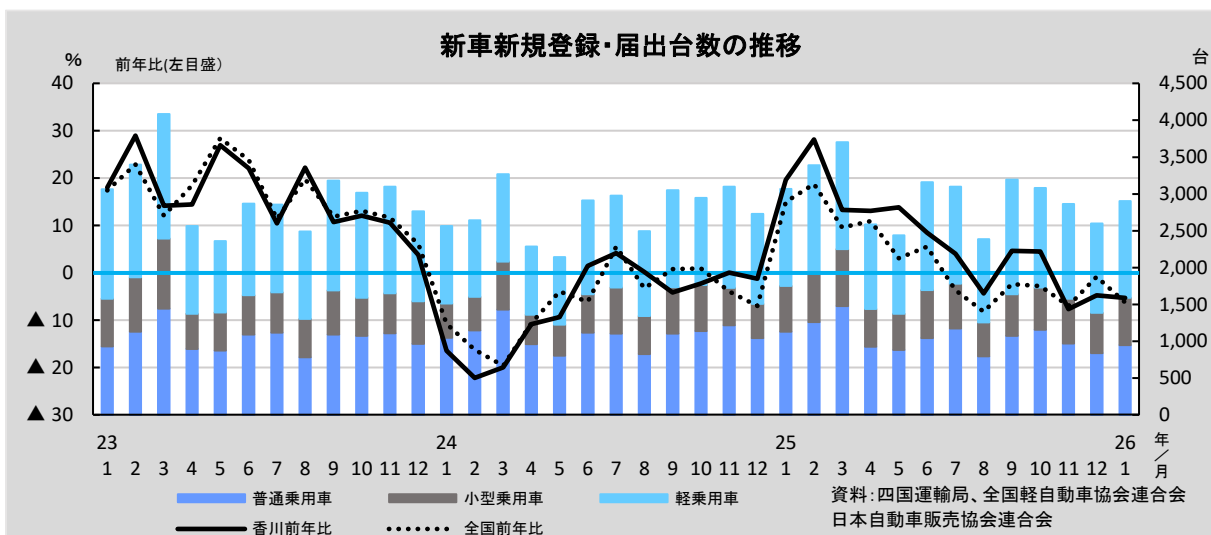


2月の専門量販店全店（240店）の販売額95.8億円で、前年同月比+1.9%と2カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は22.2億円で前年同月比▲0.2%となった。**ドラッグストア**（167店）の販売額は、55.4億円で同+5.5%となった。**ホームセンター**（46店）の販売額は、18.2億円で同▲5.6%となった。

●新車新規登録・届出台数

3 カ月連続減少 ↓



1月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,905台で、前年同月比▲5.3%と3カ月連続で減少した。

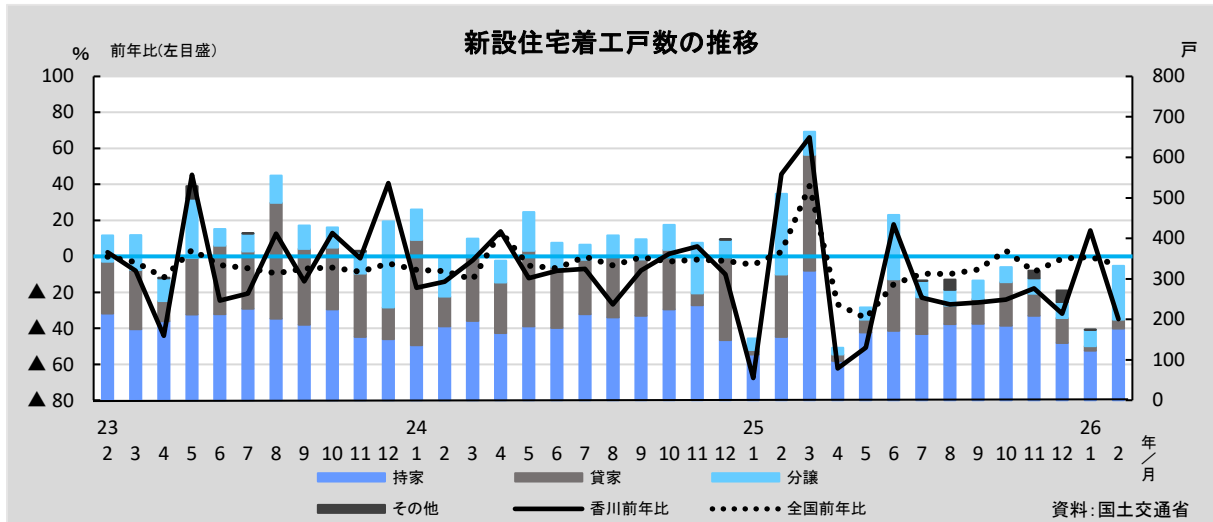
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲16.0%、小型乗用車は同+3.7%、軽乗用車は同▲0.2%となった。

## 住宅投資

低調に推移している

### ●新設住宅着工

2カ月ぶり減少 ↓



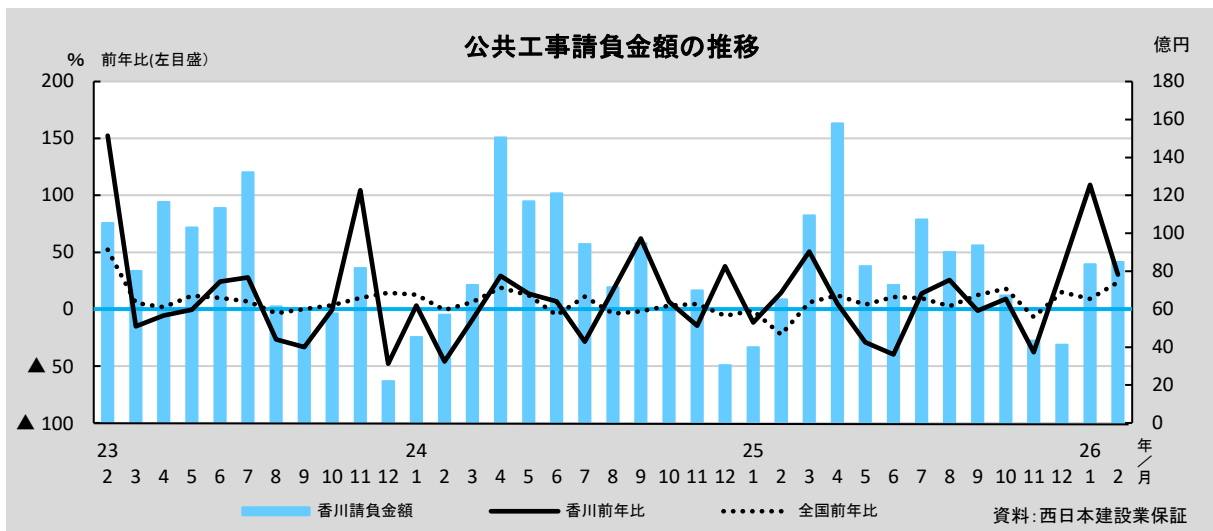
2月の新設住宅着工戸数は332戸で、前年同月比▲34.9%と2カ月ぶりに減少しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+12.7%、**貸家**で同▲85.7%、**分譲住宅**で同▲33.2%となった。

## 公共投資

持ち直しの動きがみられる

### ●公共工事請負金額

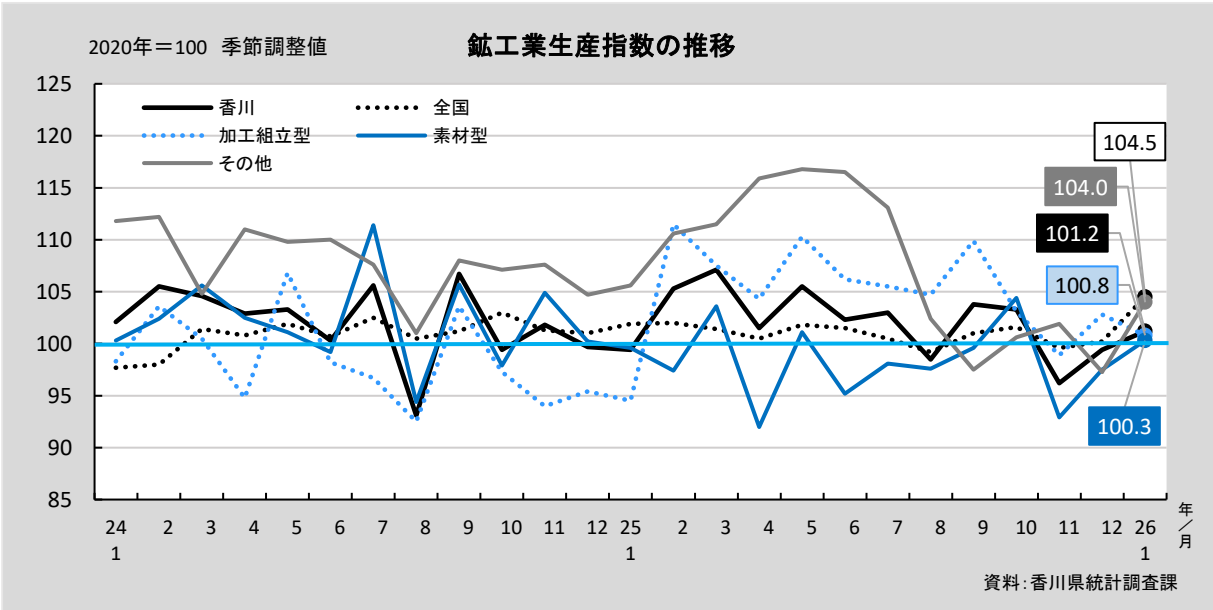
3カ月連続増加 ↑



2月の公共工事請負金額は85.0億円で、前年同月比+30.3%と3カ月連続で増加しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲82.7%、**県**で同+32.9%、**市町**で同+71.1%となった。2025年度（2025.4月～2026.2月）の累計では前年同期比+0.9%と増加している。

● 鉱工業生産指数

2 カ月連続上昇 ↑

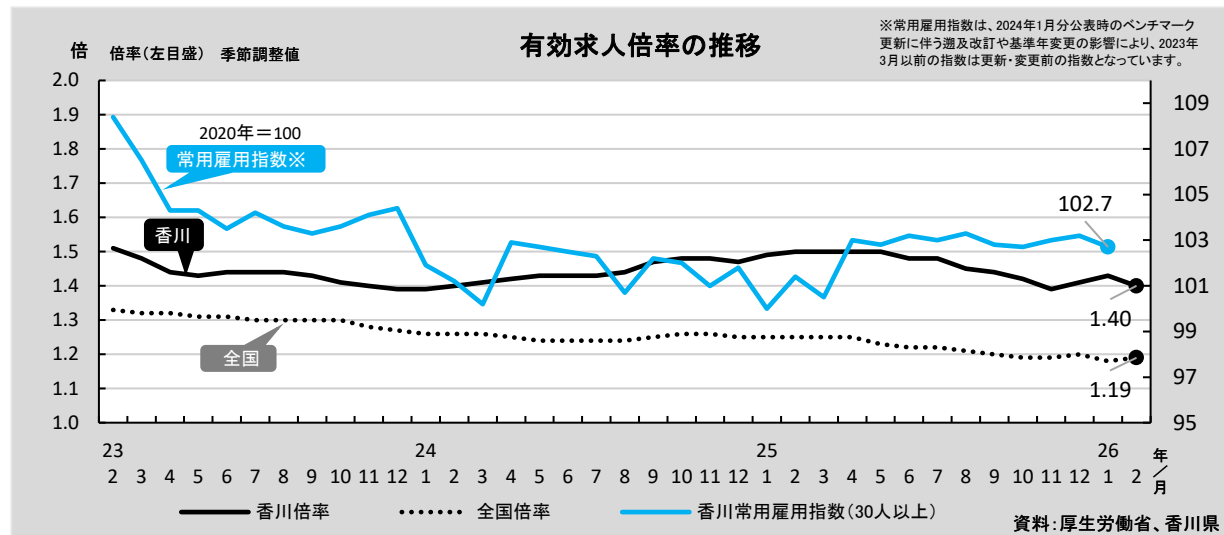


1月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は101.2（前月99.4）となり、2カ月連続で上昇した。

業種別では、素材型の金属製品工業（鋼管：ベンディングロールなど）は前月比+8.9%、プラスチック製品工業（フィルム・シートなど）は同+15.9%と上昇した。一方、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は同▲11.2%と低下した。

● 有効求人倍率

3 カ月ぶり減少 ↓



2月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.40倍（全国6位）で前月より0.03ポイント低下した。

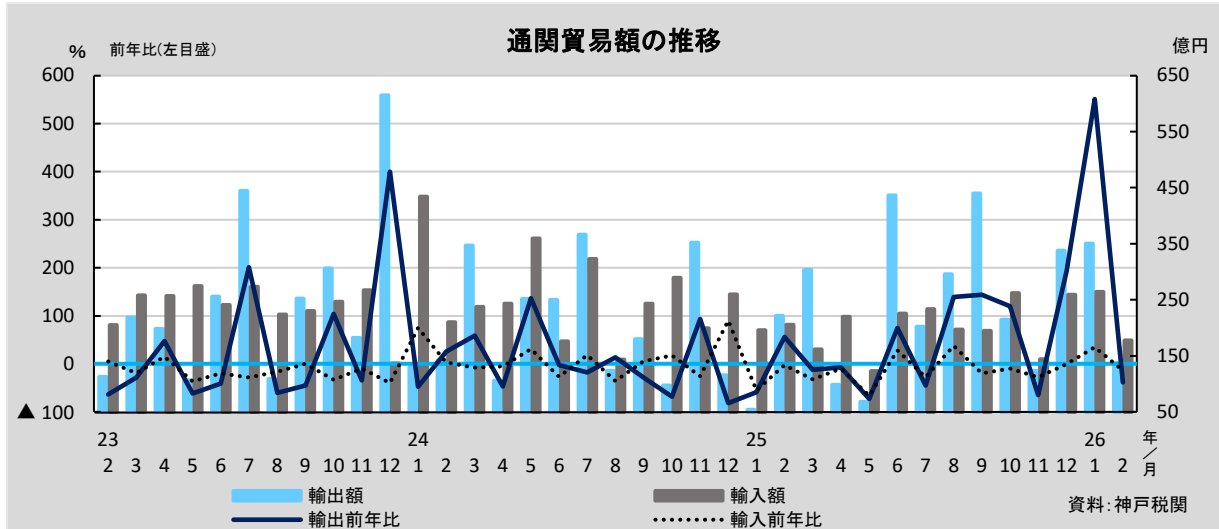
新規求人（原数値：前年同月比）は、医療・福祉、サービス業（他に分類されないもの）、卸売業・小売業等で減少となり、全体で▲15.1%と3カ月ぶりに減少した。

1月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、102.7となり、前年同月比は+2.7と12カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.60
事務的職業	0.71
販売の職業	2.32
サービスの職業	3.36
生産工程の職業	2.51
輸送・機械運転の職業	2.23
建設・採掘の職業	6.65
運搬・清掃・包装等の職業	1.18

## 貿易

輸出、輸入ともに減少している

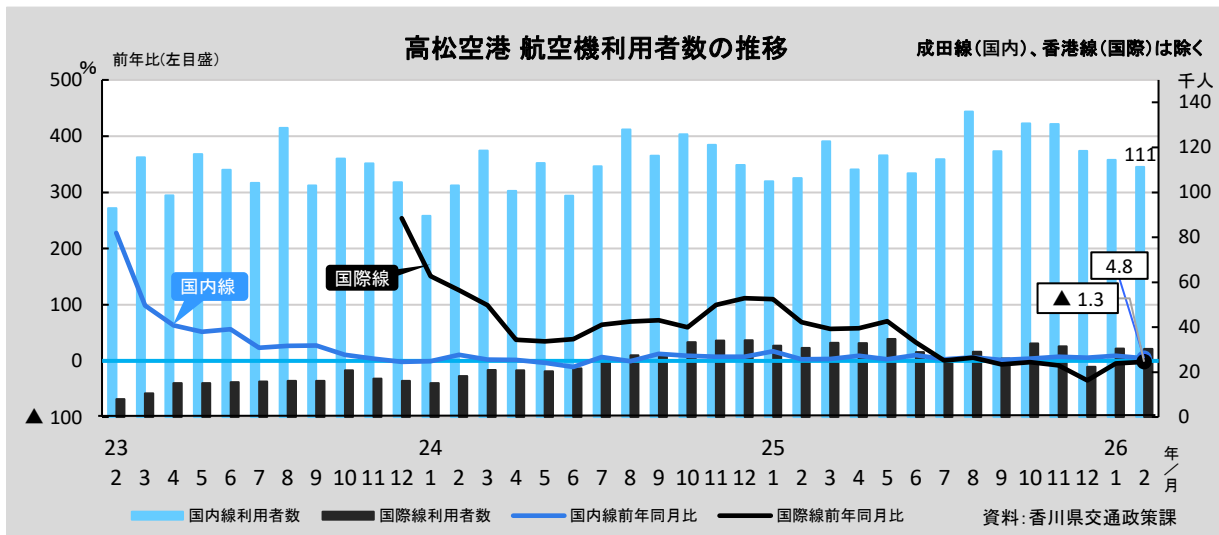


2月の輸出額は前年同月比▲38.1%の137.1億円、輸入額は同▲13.6%の177.5億円となり、差し引き40.4億円の入超となった。輸出は前年134億円だったタンカー輸出額がゼロとなり減少に寄与した。輸入は石炭輸入額が前年同月比▲30.0%の54億円となり減少に寄与した。

## 交通

国内線は18カ月連続増加、国際線は6カ月連続減少

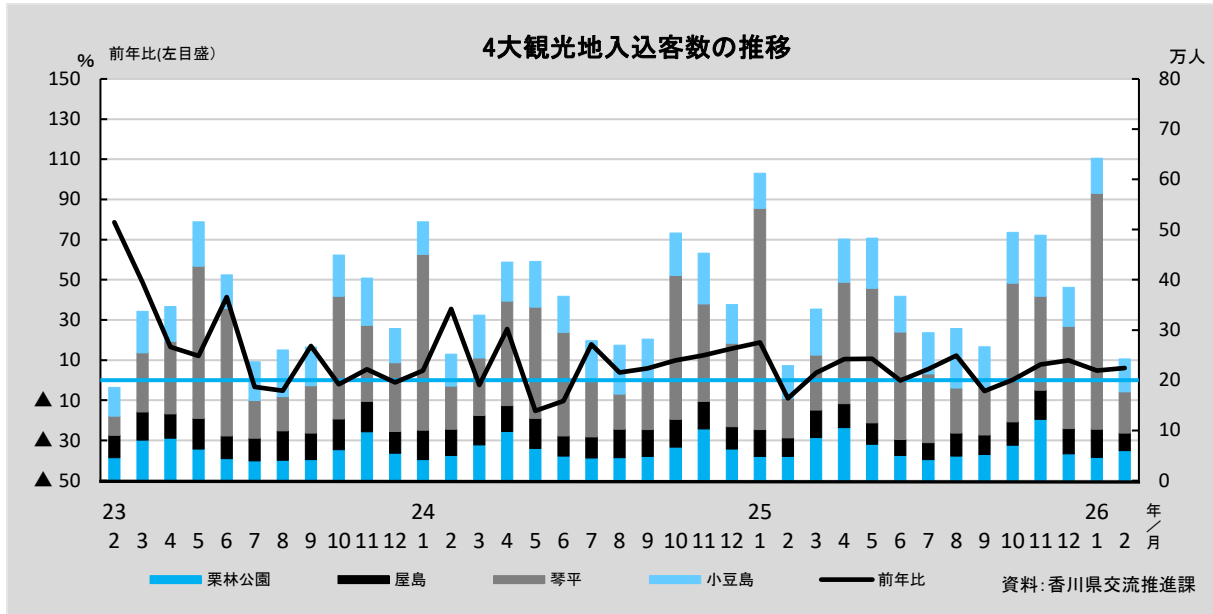
### ●高松空港旅客輸送実績



2月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が111,382人(前年同月比+4.8%)となり、18カ月連続で増加した。羽田線は103,867人(同+6.2%)、那覇線は7,515人(同▲11.4%)となった。

国際線は、ソウル線20,890人(同+3.9%)、台北線9,475人(同+83.7%)で合計30,365人(同▲1.3%)と6カ月連続で減少した。

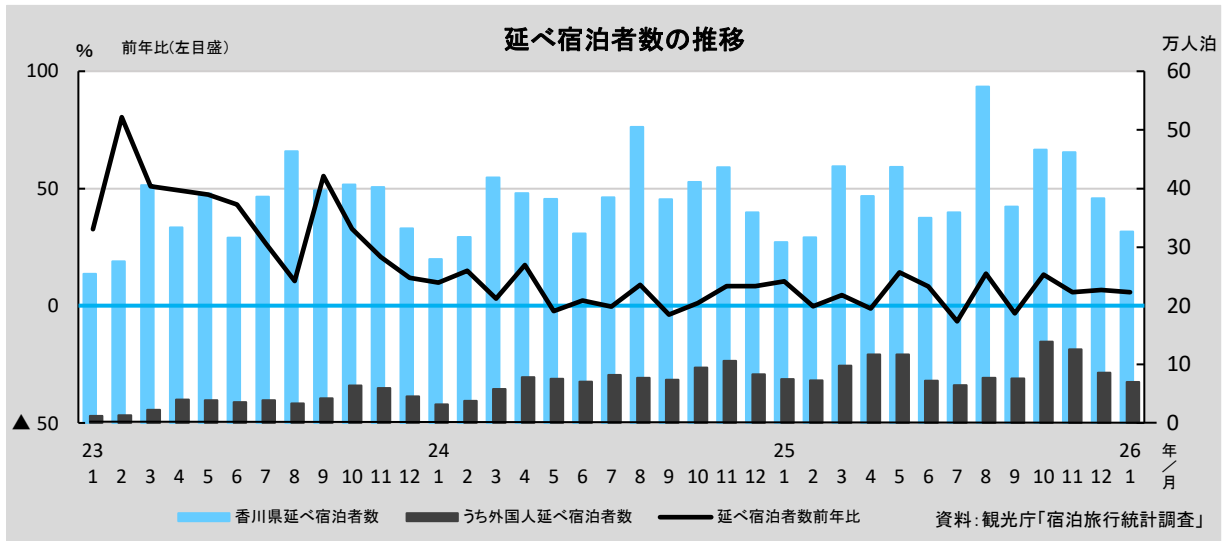
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計					
2月(人)	前年同月比	59,743	▲24.2%	35,123	▲5.7%	82,000	5.1%	65,757	0.3%	242,623	6.0%
1~2月累計(人)		106,311	10.2%	90,877	0.1%	552,000	6.6%	135,457	▲0.5%	884,645	5.1%

2月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+6.0%と5カ月連続で増加した。栗林公園は前年同月比+24.2%、琴平は同+5.1%、小豆島は同+0.3%と増加した。一方、屋島は同▲5.7%と減少した。

●延べ宿泊者数



1月の延べ宿泊者数 326,510 人泊で、前年同月比+5.8%と4カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数は 69,760 人泊となり、前年同月比▲6.7%と6カ月ぶりに減少した。